|  |
| --- |
| **－ 平成28年社会生活基本調査 －****生活行動・生活時間に関する結果　 （大阪府版）** |

**平成28年（2016）年10月20日現在**



公表日：平成29年10月31日

大阪府総務部統計課

**『平成28年社会生活基本調査　生活行動・生活時間に関する結果（大阪府版）』について**

本資料は,総務省統計局より平成29年７月14日に公表された「平成28年社会生活基本調査　生活行動に関する結果」及び平成29年９月15日に公表された「平成28年社会生活基本調査　生活時間に関する結果」に関する統計表に基づき,大阪府に関する項目について編集したものです。

【統計局ＨＰ】[平成28年社会生活基本調査　e-Stat](http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020101.do?_toGL08020101_&tstatCode=000001095335&requestSender=search)

**用語の解説**

**～生活行動編～**

**●行動者数**

・・・過去１年間（平成27年10月20日～平成28年10月19日）に該当する種類の活動を行った人（10歳以上）の数。なお、数値は母集団における行動者数の推計値である。

**●行動者率**

・・・10歳以上人口に占める行動者数の割合。次の式により算出した。

　　　行動者率＝行動者数÷各属性の10歳以上人口×100（％）

**●学習・自己啓発・訓練**

・・・個人の自由時間の中で行う学習，自己啓発や訓練をいう。社会人の職場研修や，児童・生徒・学生が学業（授業，予習，復習）として行うものは除き，クラブ活動や部活動は含む。

**●ボランティア活動**

・・・報酬を目的としないで，自分の労力，技術，時間を提供して地域社会や個人・団体の福祉のために行っている活動をいう。

**●スポーツ**

・・・余暇活動として行う「スポーツ」をいう。職業スポーツ選手が仕事として行うものや，児童・生徒・学生が体育の授業で行うものは除き，クラブ活動や部活動は含む。

**●趣味・娯楽**

・・・仕事，学業，家事などのように義務的に行う活動ではなく，個人の自由時間の中で行うものをいう。

**●旅行・行楽**

・・・旅行は，１泊２日以上にわたって行う全ての旅行をいい，日帰りの旅行を除く。行楽は，日常生活圏を離れ、半日以上かけて行う日帰りのものをいい，夜行日帰りを含む。

**～生活時間編～**

**【行動の種類】**

**●１次活動**

・・・睡眠，食事など生理的に必要な活動

**●２次活動**

・・・仕事，家事など社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動

**●３次活動**

・・・１次活動，２次活動以外で各人が自由に使える時間における活動

**●家事関連**

・・・「家事」，「介護・看護」，「育児」及び「買い物」をまとめた区分

**●自由時間**

　　　・・・「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」，「休養・くつろぎ」，「学習・自己啓発・訓練（学業以外）」，「趣味・娯楽」，「スポーツ」及び「ボランティア活動・社会参加活動」をまとめた区分

**【平均時間】**

**●総平均**

・・・該当する種類の行動をしなかった人を含む全員の平均

●**行動者平均**

・・・該当する種類の行動をした人のみについての平均

**●曜日別平均**

・・・調査の曜日ごとに平均値を算出したもの。平日平均（月曜日～金曜日の平均値）などがある。

**●週全体平均**

・・・次の式により曜日別結果を平均して算出したもの。



ただし，ある曜日に当該属性をもつ客体が存在しない場合は以下の通り算出している。

※公表結果は，特に断りのない限り，総平均時間の数値を記載している。

**目次**

**第１　生活行動編**

**１　生活行動の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１**

表１-１　生活行動の種類，男女別行動者数・行動者率の推移（平成８年～28年）・・・・・１

**２　学習・自己啓発・訓練・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２**

図２-１　「学習・自己啓発・訓練」の男女，年齢階級別行動者数・行動者率（平成28年）・２

図２-２　「学習・自己啓発・訓練」の種類，男女別行動者率（平成28年）・・・・・・・・２

図２-３　 主な「学習・自己啓発・訓練」の種類，男女，年齢階級別行動者率

（平成23年，28年）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３

**３　ボランティア活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４**

　図３-１　「ボランティア活動」の男女，年齢階級別行動者数・行動者率（平成28年）・・・４

図３-２　「ボランティア活動」の種類，男女別行動者率（平成28年）・・・・・・・・・・５

図３-３　「ボランティア活動」の形態別行動者率（平成28年）・・・・・・・・・・・・・５

**４　スポーツ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６**

図４-１　「スポーツ」の男女，年齢階級別行動者数・行動者率（平成28年）・・・・・・・６

図４-２　「スポーツ」の種類，男女別行動者率（平成28年）-男女総数の行動者率が

３％以上の種類・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７

図４-３　「スポーツ」の種類，男女別行動者率（平成28年）-男女総数の行動者率が

３％未満の種類・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７

図４-４ 　主な「スポーツ」の種類，年齢階級別行動者率（平成23年，28年）・・・・・・８

**５　趣味・娯楽・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10**

図５-１　「趣味・娯楽」の男女，年齢階級別行動者数・行動者率（平成28年）・・・・・・10

図５-２　「趣味・娯楽」の種類，男女別行動者率（平成28年）-男女総数の行動者率が

５％以上の種類・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

図５-３　「趣味・娯楽」の種類，男女別行動者率（平成28年）-男女総数の行動者率が

５％未満の種類 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

図５-４ 　主な「趣味・娯楽」の種類，年齢階級別行動者率（平成23年，28年）・・・・・12

**６　旅行・行楽・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14**

図６-１　「旅行・行楽」の男女，年齢階級別行動者数・行動者率（平成28年）・・・・・・14

図６-２　「旅行・行楽」の種類，男女別行動者率（平成28年）・・・・・・・・・・・・・14

**第２　生活時間編**

**１　１日の生活時間の配分・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15**

表１-１　男女，行動の種類別生活時間（平成23年，28年）-週全体平均 ・・・・・・・・15

表１-２ 男女，行動の種類別生活時間の割合（平成23年，28年）-週全体平均 ・・・・・16

図１-１ 行動の種類別生活時間の比率（平成23年，28年）-週全体平均 ・・・・・・・・16

**２　１次活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17**

図２-１　男女，年齢階級別睡眠時間（平成28年）-週全体平均・・・・・・・・・・・・・17

図２-２　男女，年齢階級別身の回りの用事時間（平成28年）-週全体平均・・・・・・・・17

図２-３　男女，年齢階級別食事時間（平成28年）-週全体平均・・・・・・・・・・・・・18

**３　２次活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19**

図３-１　男女，行動の種類別行動時間（平成28年）-週全体平均・・・・・・・・・・・・19

表３-１　男女，従業上の地位，雇用形態，行動の種類別行動時間（平成23年，28年）

 -週全体平均，有業者，15歳以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19

表３-２　男女別，家事関連時間の推移（平成８年～28年）-週全体平均・・・・・・・・・20

図３-２　男女別，家事関連時間の推移（平成８年～28年）-週全体平均・・・・・・・・・20

図３-３　６歳未満の子供を持つ夫・妻の家事関連時間の比率（平成23年，28年）

-週全体平均，夫婦とも15歳以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21

表３-３　６歳未満の子供を持つ夫・妻（夫婦と子供の世帯）の家事関連時間の内訳

（平成23年，28年）-週全体平均，夫婦とも15歳以上・・・・・・・・・・・21

表３-４　共働きか否か，行動の種類別夫婦と子供の世帯の生活時間（平成８年～28年）

-週全体平均，夫婦とも15歳以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22

表３-５　男女，行動の種類別生活時間（平成23年，28年）-週全体平均，65歳以上 ・・・22

表３-６　男女別介護者数，行動者平均時間（平成23年，28年）-週全体平均，65歳以上 ・22

**４　３次活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23**

図４-１　男女，行動の種類別行動時間（平成28年）-週全体平均・・・・・・・・・・・・23

図４-２　男女，年齢階級別自由時間（平成28年）-週全体平均・・・・・・・・・・・・・23

**５　スマートフォン・パソコンなどの使用時間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24**

表５-１　男女，年齢階級別スマートフォン・パソコンなどを使用した人の人数及び割合

（平成28年）-週全体平均 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24

表５-２　男女，曜日別スマートフォン・パソコンなどを使用した人の人数及び割合

（平成28年）-週全体平均・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24

表５-３　男女，スマートフォン・パソコンなどの使用の有無，使用時間別の人数及び構成比

（平成28年）-週全体平均 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25

表５-４　男女，年齢階級別スマートフォン・パソコンなどの使用時間構成比

（平成28年）-週全体平均 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25

図５-１　年齢階級， スマートフォン・パソコンなどの使用時間帯別行動者率

（平成28年）-平日，15～49歳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26

図５-２　年齢階級，スマートフォン・パソコンなどの使用目的別行動者率

（平成28年）- 平日21：00～24：00，15～49歳・・・・・・・・・・・・・・・26

**第１　生活行動編**

**１　生活行動の概要**

**「学習・自己啓発・訓練」，「スポーツ」及び「趣味・娯楽」の行動者率が**

**５年前より上昇。**

　大阪府における10歳以上の人について生活行動別に行動者数及び行動者率を見ると，「学習・自己啓発・訓練」の行動者数は約299万人，行動者率は37.7％，「ボランティア活動」の行動者数は約163万人，行動者率は20.6％，「スポーツ」の行動者数は約530万人，行動者率は66.9％，「趣味・娯楽」の行動者数は686万人，行動者率は86.6％，「旅行・行楽」の行動者数は566万人，行動者率は71.4％となっている。

行動者率について平成23年と比較すると、「学習・自己啓発・訓練」は1.2ポイントの上昇，「ボランティア活動」は変化なし，「スポーツ」の行動者数は4.0ポイントの上昇，「趣味・娯楽」は0.7ポイントの上昇，「旅行・行楽」2.1ポイントの低下となっている。

表１-１　生活行動の種類，男女別行動者数・行動者率の推移（平成８年～28年）



**２　学習・自己啓発・訓練（個人の自由時間の中で行うもの）**

**男性は「パソコンなどの情報処理」，女性は「家政・家事」の行動者率が最も高い。**

（１）「学習・自己啓発・訓練」について男女，年齢階級別に行動者率をみると，25～34歳及び75歳以上の年齢階級を除き，女性が男性より高くなっている。

図２-１　「学習・自己啓発・訓練」の男女，年齢階級別行動者数・行動者率（平成28年）



（２）「学習・自己啓発・訓練」について種類，男女別の行動者率をみると，男性は「パソコンなどの情報処理」が16.1％と最も高く，次いで「英語」が12.6％，「商業実務・ビジネス関係」が10.1％などとなっている。女性は「家政・家事」が17.5％と最も高く，次いで「芸術・文化」が12.9％，「英語」が12.2％などとなっている。

図２-２　「学習・自己啓発・訓練」の種類，男女別行動者率（平成28年）



図２-３　主な「学習・自己啓発・訓練」の種類，男女，年齢階級別行動者率（平成23年，28年）









**３　ボランティア活動**

**ボランティア活動は「町内会などの組織」に参加して行う人が多い。**

（１）「ボランティア活動」について男女，年齢階級別に行動者数をみると，すべての年齢階級で女性が男性より高くなっており，行動者率をみると，65～74歳及び75歳以上を除く年齢階級で、女性が男性より高くなっている。

図３-１　「ボランティア活動」の男女，年齢階級別行動者数・行動者率（平成28年）



（２）「ボランティア活動」について種類，男女別の行動者率をみると，男性は「まちづくりのための活動」が7.4％と最も高く，次いで「子供を対象とした活動」が4.0％，「安全な生活のための活動」が3.9％などとなっている。女性は「子供を対象とした活動」が8.7％と最も高く，次いで「まちづくりのための活動」が8.2％，「高齢者を対象とした活動」が3.7％などとなっている。

図３-２　「ボランティア活動」の種類，男女別行動者率（平成28年）



（３）「ボランティア活動」について形態別に行動者率をみると，「団体等に加入して行っている」が「団体等に加入しないで行っている」よりも高くなっている。

「団体等に加入して行っている」について内訳をみると，行動者率は「地域社会とのつながりの強い町内会などの組織」に加入して行った活動が8.2％と最も高く，次いで「ボランティアを目的とするクラブ・サークル・市民団体など」に加入して行った活動が2.5％などとなっている。

図３-３　「ボランティア活動」の形態別行動者率（平成28年）

注）複数回答あり

**４　スポーツ（余暇活動として行うもの）**

**「ウォーキング・軽い体操」など，12の「スポーツ」の種類で行動者率が**

**５年前より上昇。**

（１）「スポーツ」について男女，年齢階級別に行動者率をみると，45～54歳を除く年齢階級で、男性が女性より高くなっている。

図４-１「スポーツ」の男女，年齢階級別行動者数・行動者率（平成28年）



（２）「スポーツ」について種類，男女別の行動者率をみると，男性は「ウォーキング・軽い体操」が36.7％と最も高く，次いで「器具を使ったトレーニング」が15.8％，「ジョギング・マラソン」が15.6％などとなっている。女性は「ウォーキング・軽い体操」が42.0％と最も高く，次いで「器具を使ったトレーニング」が12.4％，「ボウリング」が11.3％などとなっている。

図４-２　「スポーツ」の種類，男女別行動者率（平成28年）-男女総数の行動者率が３％以上の種類



図４-３　「スポーツ」の種類，男女別行動者率（平成28年）-男女総数の行動者率が３％未満の種類



（３）平成23年と比較して行動者率が上昇した主な「スポーツ」の種類について，年齢階級別の行動者率を平成23年と比べると，「卓球」や「ウォーキング・軽い体操」，「器具を使ったトレーニング」などはすべての年齢階級で行動者率が上昇している。一方，「バレーボール」や「バスケットボール」，「テニス」などは主に10～24歳の年齢階級で行動者率が上昇している。

図４-４　主な「スポーツ」の種類，年齢階級別行動者率（平成23年，28年）

　

　

　

　

　

　

**５　趣味・娯楽（個人の自由時間の中で行うもの）**

**すべての年齢階級で，「映画館以外での映画鑑賞」の行動者率が５年前より上昇。**

（１）「趣味・娯楽」について男女，年齢階級別に行動者率をみると，15～64歳の年齢階級で、女性が男性より高くなっている。

図５-１　「趣味・娯楽」の男女，年齢階級別行動者数・行動者率（平成28年）



（２）「趣味・娯楽」について種類，男女別の行動者率をみると，男性は「映画館以外での映画鑑賞」が51.8％と最も高く，次いで「ＣＤ・スマートフォンなどによる音楽鑑賞」が50.3％，「テレビゲーム・パソコンゲーム」が40.5％などとなっている。女性は「映画館以外での映画鑑賞」が53.6％と最も高く，次いで「ＣＤ・スマートフォンなどによる音楽鑑賞」が49.9％，「映画館での映画鑑賞」が46.1％などとなっている。

図５-２　「趣味・娯楽」の種類，男女別行動者率（平成28年）-男女総数の行動者率が５％以上の種類



図５-３　「趣味・娯楽」の種類，男女別行動者率（平成28年）-男女総数の行動者率が５％未満の種類



（３）平成23年と比較して行動者率が上昇した主な「趣味・娯楽」の種類について，年齢階級別の行動者率を平成23年と比べると， 「映画館以外での映画鑑賞」はすべての年齢階級で，「美術鑑賞」や「演芸・演劇・舞踊鑑賞」，「映画館での映画鑑賞」，「遊園地，動植物園，水族館などの見物」は75歳以上を除く幅広い年齢階級で行動者率が上昇している。一方，「ＣＤ・スマートフォンなどによる音楽鑑賞」は10～44歳及び55～74歳の年齢階級で行動者率が上昇している。

図５-４　主な「趣味・娯楽」の種類，年齢階級別行動者率（平成23年，28年）

           

  

**６　旅行・行楽**

**「旅行・行楽」のすべての種類で，女性が男性よりも行動者率が高い。**

（１）「旅行・行楽」について男女，年齢階級別に行動者率をみると，15～74歳の年齢階級で、女性が男性より高くなっている。

図６-１　「旅行・行楽」の男女，年齢階級別行動者数・行動者率（平成28年）



（２）「旅行・行楽」の種類別に行動者率をみると，「行楽（日帰り）」が56.2％，国内の「観光旅行」が48％，国内の「帰省・訪問などの旅行」が26.9％，海外の観光旅行が8.1％となっている。

　　　これを男女別にみると，すべての種類で女性のほうが行動者率が高くなっており、特に「行楽（日帰り）」では男性53.2％に対し女性59.0％と，女性の方が5.8ポイント高くなっている。

図６-２　「旅行・行楽」の種類，男女別行動者率（平成28年）



**第２　生活時間編**

**１　１日の生活時間の配分**

**「趣味・娯楽」の時間が最も増加し，**

**「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」の時間が最も減少。**

　大阪府に住んでいる10歳以上の人について、行動の種類別に週全体平均による１日の生活時間をみると，「睡眠」の時間が７時間36分，「仕事」の時間が３時間19分，「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」の時間が２時間24分などとなっている。

　平成23年と比較すると，「趣味・娯楽」の時間が５分増加し、次いで「身の回りの用事」，「通勤・通学」，「学業」，「学習・自己啓発・訓練（学業以外）」の時間がそれぞれ４分の増加などとなっている。一方、「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」の時間については11分減少し，次いで「家事」の時間が10分の減少，「睡眠」の時間が４分の減少などとなっている。

表１-１　男女，行動の種類別生活時間（平成23年，28年）-週全体平均



表１-２　男女，行動の種類別生活時間の割合（平成23年，28年）-週全体平均



図１-１　行動の種類別生活時間の比率（平成23年，28年）-週全体平均



**２　１次活動（睡眠，食事など生理的に必要な活動）**

**「睡眠」及び「食事」の時間は男女ともに75歳以上の年齢階級で最も長い。**

（１）１次活動のうち，「睡眠」の時間を男女，年齢階級別にみると、75歳以上の男性が８時間46分，75歳以上の女性が８時間29分と、男女ともに75歳以上の年齢階級で最も長くなっている。

図２-１　男女，年齢階級別睡眠時間（平成28年）-週全体平均



（２）１次活動のうち，「身の回りの用事」の時間を男女，年齢階級別にみると、すべての年齢階級で女性が男性よりも長くなっている。

図２-２　男女，年齢階級別身の回りの用事時間（平成28年）-週全体平均



（３）１次活動のうち，「食事」の時間を男女，年齢階級別別にみると、75歳以上の男性が２時間３分，75歳以上の女性が２時間５分と、男女ともに75歳以上の年齢階級で最も長くなっている。

図２-３　男女，年齢階級別食事時間（平成28年）-週全体平均



**３　２次活動（仕事，家事など社会的生活を営む上で義務的な性格の強い活動）**

**６歳未満の子供のいる世帯（夫婦と子供の世帯）では，**

**「夫の育児時間」が５年前と比べて29分増加。**

（１）２次活動について，男女，行動の種類別に生活時間をみると，「仕事」の時間が男性は４時間20分，女性は２時間23分と男女共に最も長くなっている。

図３-１　男女，行動の種類別行動時間（平成28年）-週全体平均



（２）有業者（15歳以上。）についてみると，有業者数は446万３千人となっており，有業者の仕事時間は男性で６時間52分，女性で４時間42分となっている。平成23年と比べると男性で８分の減少，女性で15分の増加となっている。

表３-１　男女，従業上の地位，雇用形態，行動の種類別行動時間（平成23年，28年）-週全体平均，有業者，15歳以上



（３）家事関連（「家事」，「介護・看護」，「育児」，及び「買い物」の合計）

２次活動のうち，家事関連（「家事」，「介護・看護」，「育児」及び「買い物」を合計したもの）は男女総数で２時間７分となり，男女別でみると男性が43分，女性が３時間24分となっている。

平成23年と比べると，男性が６分の増加，女性が28分の減少となっている。

過去20年間における家事関連の時間の推移を男女別にみると，男性は平成８年から増加しており，女性は平成８年から平成18年にかけては減少していたが，平成18年から平成23年にかけて増加し，平成23年から平成28年にかけて再び減少している。

表３-２　男女別，家事関連時間の推移（平成８年～28年）-週全体平均



図３-２　 男女別，家事関連時間の推移（平成８年～28年）-週全体平均



（４）６歳未満の子供のいる世帯（夫婦と子供の世帯）の夫と妻（夫婦とも15歳以上。）について家事関連の時間をみると，夫は１時間25分で妻は７時間25分となっている。

家事関連の時間の内訳について平成23年と比べると，夫は「育児」の時間が29分増加となっている。妻は「育児」の時間が２分増加する一方，「家事」の時間が27分の減少，「買い物」の時間が９分の減少となっている。

図３-３　６歳未満の子供を持つ夫・妻の家事関連時間の比率（平成23年，28年）-週全体平均，夫婦とも15歳以上

【夫】



【妻】



表３-３　６歳未満の子供を持つ夫・妻（夫婦と子供の世帯）の家事関連時間の内訳（平成23年，28年）-週全体平均，夫婦とも15歳以上



（５）子供がいる世帯（夫婦と子供の世帯，夫婦とも15歳以上。）のうち，「共働き世帯」及び「夫が有業で妻が無業の世帯」についてみると、平成23年に比べ夫の家事関連時間は「共働き世帯」で22分の増加， 「夫が有業で妻が無業の世帯」で16分の減少となっている。

　　　一方，平成23年に比べ，妻の家事関連時間は「共働き世帯」で３分の増加， 「夫が有業で妻が無業の世帯」で５分の減少となっている。

表３-４　共働きか否か，行動の種類別夫婦と子供の世帯の生活時間（平成８年～28年）-週全体平均，夫婦とも15歳以上



（６）65歳以上の高齢者の生活時間について，男女別に平成23年と比較すると，男性は「仕事」の時間が１時間48分で16分の増加，女性は40分で１分の減少となっている。家事関連の時間は男性が１時間１分で４分の増加，女性が３時間54分で１分の減少となっている。

表３-５　男女，行動の種類別生活時間（平成23年，28年）-週全体平均，65歳以上



　　　65歳以上の高齢者のうち，介護者は18万１千人で，平成23年と比べると５万７千人の増加，人口比では1.6ポイントの上昇となっている。また、介護者のうち，調査当日に実際に「介護・看護」を行った人の平均時間（行動者平均時間）は２時間44分で，平成23年に比べ46分の増加となっている。

表３-６　男女別介護者数，行動者平均時間（平成23年，28年）-週全体平均，65歳以上



**４　３次活動（１次活動，２次活動以外で各人が自由に使える時間における活動）**

**「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」の時間が男女共に最も長い。**

（１）３次活動について，男女，行動の種類別に生活時間をみると，「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」の時間が男性は２時間30分，女性は２時間18分と男女共に最も長くなっている。

図４-１　男女，行動の種類別行動時間（平成28年）-週全体平均



（２）自由時間（「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」，「休養・くつろぎ」，「学習・自己啓発・訓練（学業以外）」，「趣味・娯楽」，「スポーツ」及び「ボランティア活動・社会参加活動」の生活時間について男女，年齢階級別にみると，35～39歳及び45～49歳の年齢階級を除き男性が女性より長くなっている。

図４-２　男女，年齢階級別自由時間（平成28年）-週全体平均



**５　スマートフォン・パソコンなどの使用時間**

**「スマートフォン・パソコンなど」の使用時間は，**

**男女共に１時間以上３時間未満が最も多い。**

（１）スマートフォン・パソコンなどを使用した人の割合（以下「使用割合」という。）をみると，男性が63.3％，女性が61.9％となっている。

　　　男女，年齢階級別にみると，男性は25～29歳の使用割合が95.6％と最も高くなっており，女性は20～24歳の使用割合が97.4％と最も高くなっている。

曜日別にみると，男女ともに使用割合は平日に比べ土曜日は高く，日曜日は低くなっている。

注）ここでいう「スマートフォン・パソコンなど」とは，スマートフォン・パソコンのほか，スマートフォン以外の携帯電話，タブレット型端末を含む。

注）ここでいう「スマートフォン・パソコンなどの使用」とは，学業や仕事以外での目的で使用した場合をいう。

表５-１　男女，年齢階級別スマートフォン・パソコンなどを使用した人の人数及び割合（平成28年）-週全体平均



表５-２　男女，曜日別スマートフォン・パソコンなどを使用した人の人数及び割合（平成28年）-週全体平均



（２）スマートフォン・パソコンなどの使用割合を男女，使用時間別にみると，「１～３時間未満」が37％と最も高くなっている。男女別にみても同じく，「１～３時間未満」が男性で39.3％，女性で34.7％と最も高くなっている。

表５-３　男女，スマートフォン・パソコンなどの使用の有無，使用時間別の人数及び構成比（平成28年）-週全体平均



表５-４　男女，年齢階級別スマートフォン・パソコンなどの使用時間構成比（平成28年）-週全体平均





（３）スマートフォン・パソコンなどを使用した人のうち，使用割合が男女共に７割を超えている15～49歳について，平日の時間帯別の行動者率を年齢階級別にみると，20～39歳及び45～49歳は21～24時の時間帯で行動者率が最も高く，特に20～24歳では８割を超えている。

図５-１　年齢階級， スマートフォン・パソコンなどの使用時間帯別行動者率（平成28年）-平日，15～49歳



（４）スマートフォン・パソコンなどを使用した時間帯別の行動者率が最も高い21～24時について，年齢階級及び使用目的別に行動者率をみると，15～24歳では「交際・付き合い・コミュニケーション」が，25～49歳では「趣味・娯楽」がそれぞれ最も高くなっている。

図５-２　年齢階級，スマートフォン・パソコンなどの使用目的別行動者率（平成28年）-平日21：00～24：00，15～49歳



１）ニュースの閲覧やその他の情報収集など

注）複数回答あり